

意見交換テーマ

令和2年11月18日,19日
国土交通省 近畿地方整備局
河川部

意見交換 テーマ1:防災気象情報の「共有ツール」と「共有内容」

- 国土交通省では「川の防災情報」等のサイトにて河川のリアルタイム水位や洪水予報、ダムの放流通知等の情報を提供しています。
- これらの情報は閲覧者が自ら入手する必要がある、特に出水発生時においては「見落とし」や「入手タイミングの遅れ」などの懸念がありました。
- メディア関係者の方々が「住民にとって必要な情報」をより適時的確にかつ容易に入手できるよう、「**情報共有ツール**」及び「**共有内容**」についてご意見を伺います。

【情報共有ツール(案)】

- ・近畿地方メディア連携協議会 メールングリスト ※希望者事前登録制

対象者:近畿地方及び各地域メディア連携協議会 参加機関(気象キャスター等含む)
行政機関(近畿地方整備局、大阪管区气象台等)

【共有内容(案)】

- ・管内ダムの事前放流及び異常洪水時防災操作情報
- ・大阪管区气象台との合同会見内容
- ・近畿地方整備局、大阪管区气象台からの記者発表情報(平時含む)
- ・各種検討会等の公表情報
- ・各メディアからの情報共有
- ・その他、適宜共有・連絡事項

【伺いたい事項】

- ・メールングリストを登録することで差し支えはありますか？
- ・メールで管轄エリア外や必要でない情報が頻繁に送付されて、ご迷惑にならないですか？
- ・どのような情報を共有して欲しいですか？

※ポツ(○)はアンケート結果内容

- 近畿地方の淀川以外の水系についても、それぞれの特徴や課題など整備局の方々に説明していただくような現地視察会。
⇒現地視察会を予定(1月下旬~2月上旬)
視察箇所:(案1)宇治川~琵琶湖、(案2)大和川、(案3)木津川上流
- 近畿地方整備局本局の見学。実際にどのような場所で、人数や時間のなかで日々の作業を行っているのか現場を見てみたい。
⇒個別に日程調整したうえで、随時対応可能
- ダムや堤防、護岸などを整備する意義、背景などの紹介。
⇒引き続き共同勉強会で紹介(参考資料3:共同勉強会(基礎編)資料参照)
- 避難情報の変更など、国の防災関連のワーキンググループや部会などの議論進捗リリース。
⇒メディア連携協議会やメーリングリストなどで情報共有
- 最新の気象予測技術のほか、先進的なハード整備・ソフト対策について外部講師を招いた研修会。
⇒現地視察会でのバス内等で有識者の講演映像を共有
- 出水期を前に、大阪管区气象台と合同で取材の設定をして頂けたら、注意喚起がよりしやすい。例えば、气象台が3ヵ月予報などを持って今季の雨の状況を解説、近畿地整はそれを受けてどのような危機感を持っているかなど。記者会見形式と現場視察(撮影付き)を組み合わせると実施したらニュースにしやすい。
⇒出水期前に各河川で実施する訓練等を紹介